



琉球大学

第45号

同窓会会報

Alumni Association University of the Ryukyus

2023年3月22日



琉球大学中城口(東口)の風景

目次

■会長あいさつ	2	■開学70周年の回顧	22
■学長ごあいさつ	3	20年以上経た今だからこそ痛感する貴重な財産	
■チャリティーゴルフ大会開催	4~7	弁護士 當眞 正姫 氏	22
■2022年度評議員会・定期総会	8	課外研修からの実践	
2021年度決算・2022年度予算概要	8	株式会社CSDコンサルタント専務取締役/経営コンサルタント 新田 繁睦 氏	23
2022年度事業計画	9	■琉球大学役員との意見交換会	24
■琉球大学同窓会 学生への支援事業	10	■琉球大学OB・OG交流会	24
2022年度 給付型奨学金事業	10	■母校情報	26
「千原(せんばる)奨学金」を受けて	10~11	琉大ミーバイに込めた思い 竹村 明洋(理学部教授)	26
「芭蕉(ばしょう)奨学金」を受けて	11~12	サークル活動報告 琉球大学吹奏楽部	27
教員候補者選考試験対策講座	12	留学生ホームビジットの開催ご案内	27
教員候補者選考試験合格体験記	13	■社会貢献活動	28
■同窓会活動	14	航空祭in 久米島2022への支援	28
岸本正之氏顕彰碑記念日セレモニー	14	RBC「応援!18の旅立ち」への支援	28
■寄付情報	15	■学部・学科同窓生動向	29
ご寄付を頂いた個人・企業等	15	ぬちまーす感謝の集い 株式会社ぬちまーす 代表取締役社長 高安正勝氏	29
■支部活動報告	16	医学部医学科同窓会総会 会長 藏下 要	29
支部長及び事務局長連絡先	16	■文芸投稿コーナー	30~31
各支部活動報告	16~19	■2022・2023年度同窓会三役・名誉顧問・事務局長紹介	38
■活躍する同窓生インタビュー	20	■会報第45号編集委員	38
街クリーン株式会社 創業者 赤嶺 和雄 氏	20	■2022・2023年度同窓会役員	39
株式会社ゆめみ 最高技術責任者 大城 信孝 氏	21	退職される恩師紹介	39
海外で活躍する同窓生 比嘉 照行 氏	22	■同窓会創立70周年記念事業概要	40
		■同窓会創立70周年記念事業募金(ご協力をお願い)	40
		■2023年度「定期総会」のご案内	40

会長あいさつ



琉球大学同窓会第9代会長
(教育学部体育科 1966年卒 14期)

幸喜徳子

琉球大学同窓会、会報第45号の発刊にあたり一言ご挨拶申し上げます。

皆様には日頃より、本会の事業に多大なるご理解、ご支援を賜り、各支部においても活発な活動を展開され、深く敬意と謝意を表します。

さて、当会では今期は役員改選があり、副会長に当真邦子氏、仲松鈴子氏、大城純市氏、藏下要氏が就任、新城勇氏、石川清雄氏、長浜まさ子氏、玉城きみ子氏が退任、評議員も若干交代がありました。退任された方々の長年のご尽力に心から感謝し、今後のご活躍とご健康を祈念申し上げます。新任の役員の皆様には新たな役職でのご活躍に期待申し上げます。

不肖、私も会長に再選され当会創立70周年記念事業に向け努力する所存でございます。

皆様の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2022年4月には恒例の学生支援チャリティゴルフ大会を開催、270人余の参加を頂き盛会裏に終えることができました。大会実行委員会の稲嶺恵一特別顧問、上地英由実行委員長、安里昌利実行委員はじめ各委員や参加者の皆様、各企業、個人のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

今期も多くの皆様からご寄付を頂き誠に有難うございました。お蔭様で学生支援他、諸事業とも充実した内容となりました。

沖縄県教員候補者選考試験対策講座は慶田喜則氏を中心とした講師陣で開催し、奨学事業は、2021年から従来の3名の他、別途4名を増員しました。2022年は大学から7名推薦されましたが、1名は面接試験を辞退し、6名への奨学金授与となりました。

久米島支部(儀間周倫支部長)では総会が開催され会長、副会長が参加しました。久米島支部では町おこしと青少年健全育成を目的とした「第5回AOPA-JAPAN航空祭2022 in 久米島」開催に伴い、支部活動として協力しました。当会も社会貢献活動の一環として後援しました。「18の旅立ち」(両親の保護養育の無い子ども達の自立)への支援も継続しました。

1月には大学役員と同窓会役員との意見交換会も実施し、意義深い機会となりました。本年は本会創立70周年記念事業実行委員会がスタートし、各支部三役との意見交換会も順次開催する方針でございます。同時に募金活動も開始しており記念式典等、諸事業の準備を進めているところです。何卒、ご協力の程よろしく申し上げます。

結びに皆様の今後ますますのご健勝、ご多幸を祈念し会長あいさつといたします。

学長ごあいさつ



「ウィズコロナ」時代を迎えて

琉球大学 第17代学長

西田 睦

新型コロナウイルス感染症の世界的流行という驚くべき状況に直面して4年目となり、ようやく少しずつですが、コロナと社会・経済活動との共存を本格的に図る「ウィズコロナ」の時代を迎えつつあると感じられるようになりました。同窓会の皆さまには、前年に引き続き、本学の学生に給付型の琉球大学同窓会奨学金をご支援いただくなどにより、学生の学修環境の改善に多大なご尽力をいただいたことに深く感謝申し上げます。おかげさまで、皆さまの後輩学生は、さまざまな制限がある中でも、懸命に学びを続けております。

昨今、社会の大学に対する期待が大きくなる一方、日本経済の停滞の影響もあり、国立大学を取り巻く財務的な状況は厳しさを増しています。そのため、全国の大学には外部資金獲得力の強化が求められており、本学もさまざまな努力を重ねています。そうした中での喜ばしい前進例をご紹介します。それは、科学技術振興機構(JST)が実施している「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」の事業に、本学を中心とした学際的な産官学連携チームによるプロジェクトが2022年に2件採択されたことです。2件採択というのは地域の国立大学で初の快挙となります。

昨年11月には、第7回世界のウチナーンチュ大会の開催に合わせて、「琉球大学と中南米系人との未来連携を考える「～これまでの取り組み、今後の展望～」と題したシンポジウムを開催しました。南米4か国(アルゼンチン、ブラジル、ペルー、ボリビア)の海外沖縄県人会会長等との懇談会が実現し、本学と世界との豊かなきずなを再認識するよい機会となりました。

いま本学では、前号でも少し触れたデジタルトランスフォーメーション(DX)に向けた取り組みを加速しています。2022年夏には、DXを通じて教育と学生支援・研究・医療・運営、そして働き方を大きく変革することを目指す「琉大トランスフォーメーション(RX)」推進プロジェクトを立ち上げました。これを通じて、大学機能の高度化と構成員の充実したキャンパスライフを実現するとともに、「地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学」としてさらに前進することを目指し、「アジア・太平洋地域の卓越した教育研究拠点となる大学」への歩みを強めていく所存です。

同窓会の皆様におかれましては、本学と在学生そして卒業生を結ぶ要として、今後とも母校と後輩へのご支援を引き続きよろしく申し上げます。同窓会のますますのご発展を祈念いたします。

2023(令和5)年3月吉日

チャリティーゴルフ大会開催

2022年4月14日(木)、琉球ゴルフ倶楽部においてチャリティーゴルフ大会を開催しました。コロナ禍で大会開催が心配されましたが、県内外から69組241名と予想以上の参加があり、84社・個人から賞品や寄付金を賜り、更に、多数の同窓生ボランティアの支援を受け、天候にも恵まれて大会は成功裏に終了しました。

大会収益金(約140万円)は、経済的支援を必要とする学生への給付型奨学金として活用しました。

今回の大会開催にあたり、実行委員会の皆様、大会参加者、協賛企業・個人、琉球ゴルフ倶楽部、同窓生ボランティアの方々に心より感謝申し上げます。

なお、表彰式は、7月2日(土)開催の評議員会冒頭で実施しました。

入賞者は次のとおりです。



実行委員会集合写真

入賞区分	氏名	賞品
優勝	仲里 求	JAL 沖縄東京往復航空ペア券
準優勝	儀間 響也	5升壺入泡盛
第3位	幸地 均	ゴルフバック
女性1位	岩田さゆり	商品券
女性2位	砂川 恵子	ゴルフバック
女性3位	神村 洋子	商品券
男子ベストグロス賞	具志 僚士	商品券
女子ベストグロス賞	河崎 幸恵	高級化粧品





2022 年度評議員会・定期総会

～コロナ感染拡大で定期総会中止を決定～

2022年7月2日(土)、琉球大学50周年記念館において2022年度評議員会(28名出席)を開催しました。幸喜徳子会長あいさつの後、議事録署名人に上原正信さんと蔵根美智子さんを選出し、会則にもとづき会長が議長となり、各号議案を審議しました。

第5号議案「2022年度役員案」
第6号議案「2022年度定期総会の中止案」
審議の結果、第2号議案「2021年度収支決算」で入会金人数を修正した以外は、全て原案どおり承認されました。
なお、第6号議案の2022年度定期総会の中止につきましては、「県内における新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、会則第13条第4項の規定により、本評議員会をもって総会に代える」ことが承認され、総会中止を決定しました。
また、評議員会の前に、2022年4月に開催したチャリティーゴルフ大会の成績優秀者の表彰式を行いました。

[議案内容]

第1号議案「2021年度会務報告」

第2号議案「2021年度収支決算」

第3号議案「2022年度事業計画案」

第4号議案「2022年度収支予算案」



2021年度決算・2022年度予算概要

2021年度決算(単位:円)

(1) 収入総額	49,591,676 円
うち会費収入	15,380,000 円
(2) 支出総額	11,410,386 円
①運営費	5,751,844 円
②事業費	4,858,542 円
(3) 繰越金額	38,181,290 円

2022年度予算概要(単位:円)

(1) 収入総額	58,231,327 円
うち会費収入	14,400,000 円
(2) 支出総額	16,995,000 円
①運営費	6,910,000 円
②事業費	10,085,000 円
(3) 繰越金額	41,236,327 円

2021年度特別会計収支決算(単位:円)

(1) 収入金額	5,850,037 円 (繰越金)
(2) 支出総額	1,200,000 円
(3) 繰越金額	4,650,037 円

2022年度事業計画

年 月 日 (曜日)	事業等の名称	関係者・担当者	琉大関係行事等
2022年 6月 16日 (木)	役員選考委員会		
6月 23日 (木)	会計監査(2021年度決算)		
6月 23日 (木)	三役会		
7月 2日 (土)	チャリティーゴルフ大会表彰式 (評議員会会場にて)		
7月 2日 (土)	2022年度評議員会		コロナ禍で中止
7月 16日 (土)	2022年度支部長会・定期総会 関西支部総会・懇親会		コロナ禍で中止
8月 13日 (土)	奨学生選考・奨学金授与式 宮古支部総会・懇親会		コロナ禍で中止
9月 7日 (水)	三役会		
9月 27日 (火)	会報編集委員会設置(2023年3月まで)		
10月 18日 (火)	会報編集委員会 関東支部総会・懇親会		コロナ禍で中止
11月 1日 (火)	会報編集委員会		
11月 5日 (土)	三役会		
11月 29日 (火)	久米島支部総会・懇親会 九州・山口、奄美支部合同懇親会		コロナ禍で中止
12月 13日 (火)	会報編集委員会		
2023年 1月 14日 (土)	三役会		
1月 24日 (火)	会報編集委員会		
1月 31日 (火)	同窓会と大学役員との意見交換会		
2月 7日 (火)	会報編集委員会 沖縄寮歌・大学の歌祭り 八重山支部総会 同窓会創立70周年事業準備開始 (事業内容、組織図、募金推進委員会等)		延期
3月	会報発行(中旬ごろ) 三役会		
3月 23日 (木)	琉球大学卒業式 奨学生募集開始		
4月	入会費納入案内		
4月 5日 (水)	教員候補者選考試験対策講座開講式		
4月 6日 (木)	琉球大学入学式		
4月 18日 (火)	琉球大学岸本基金管理委員会 岸本正之氏顕彰碑記念日		
5月	三役会		
5月 22日 (月)	琉球大学開学記念日 留学生ホームビジット募集開始		

※幸喜会長ほか役員が年間を通して同窓会への募金活動を継続的に実施
※行事予定は新型コロナウイルスの感染状況に応じて、変更になる場合があります。

琉球大学同窓会 学生への支援事業

2022 年度 給付型奨学金事業

2019 年度から、同窓会では、経済的支援を必要とする学生の中から奨学生を選考して返済不要の給付型奨学金を給付しています。2022 年度奨学生は、大学推薦の候補者を面接審査して6 名を選考し、8 月 13 日に奨学金を給付しました。

[2022 年度奨学生]

奨学金「千原(せんばる)」年間 60 万円給付3名	奨学金「芭蕉(ばしょう)」年間 30 万円給付3名
理学部 4 年 石垣 純光	医学部 3 年 佐取 伸明
国際地域創造学部 2 年 長嶺 葵	教育学部 2 年 上戸 桃華
国際地域創造学部 1 年 菅原 由夏	理学部 1 年 井上 結喜



「千原(せんばる)奨学金」を受けて



理学部 4年次
石垣純光

琉球大学同窓会の皆様、この度は私を奨学金「千原」に採用させて頂き誠にありがとうございます。

奨学金の使い道としては三つあります。一つ目は生活費に充てます。現在、私は4年次で卒業論文作成にあたりアルバイトなどが出来ない状態にあります。しかし、今回頂いた奨学金のおかげで余裕を持って卒業論文作成に集中できます。

二つ目に県外への渡航費です。私は福岡へ就職が内定しており、引っ越しの際に多額の費用が予想されるので奨

学金を使います。

三つ目に資格の受験費用に充てます。

将来の私の夢は他人の運命を良い方向へ導ける人になりたいと思っています。私自身も沢山の方々に自分の運命を良い方向へと導いて頂きました。具体的に述べると私は養護施設出身ではありますが、一般の人と変わらないような生活が送れており、大学に入学してからも不自由なく過ごすことができいております。この様に生活が送れたのも私を良い方向へ導いてくれた方達のおかげです。したがって私は他人の運命を良い方向へ導ける人になりたいです。

奨学金給付を希望する学生の皆さんは奨学金の募集がいつあるのかチェックすることが必要です。私は前回、応募しようとしたのですが期限が過ぎており応募することが出来ませんでした。今回はしっかりと応募の期間を把握していたので応募することができました。



国際地域創造学部 2年次
長嶺 葵

この度は、琉球大学同窓会主催給付型奨学金「千原」の奨学生として選抜していただき、心より感謝申し上げます。選抜

における過程でも、同窓会の皆様のお心遣いをお心遣いありがとうございました。

私は、貧しい家庭で生まれ、多額の奨学金を貸与していただき、日々の多忙なアルバイトの中で学業に集中できていない状況がありました。このような中で、この奨学金をいただけることとなり、アルバイトの日数を減らし、大学構内

で過ごす時間が多くなり、興味のある学問への取り組みも有意義なものになりつつあります。

私の将来の夢は、子どもたちの居場所を与えることのできる「教師」になることです。私は、幼いころからの貧困により、自身の環境に不満を感じていましたが、恩師たちのサポートから長所を伸ばすことが出来、環境に感謝するようになりました。そのため、将来、身近な存在である教師として、子ども自身が輝ける居場所を適切に提供し、私のように、困難な状況の中でも未来に希望のある日常を過ごす子どもたち増やし、サポートしていきたいです。

最後に改めて、このような機会のために尽力して下さった皆様に重ねて感謝を申し上げるとともに、今後も変わらぬご声援をよろしくお願いいたします。



国際地域創造学部 1年次
菅原由夏

この度は琉球大学同窓会の奨学金を授与していただきありがとうございます。大学生としてより身の引き締まる思いです。

この奨学金を活用して一層勉学に励みます。今回頂いた奨学金の使い道ですが、後期の教科書等を購入する費用や通学の交通費に充てたいと考えています。

私はこの国際地域創造学部で中学・高校英語の教員免許を取得し、卒業後は沖縄県内の学校で英語教育に携わるのが目標です。この9月は前年度から挑戦している、国

や地方自治体の職員採用試験を受験しました。私は入学直後から講義の傍ら、夏休みの間も参考書を片手に採用試験の勉強を続けてきました。今後もこのように明確な目標を掲げて自分の夢に一步でも近づけるよう努力していきます。今回頂いた奨学金は一円たりとも無駄にせず目標を実現するために使っていきたいと思いをしています。

これからこの奨学金の選抜に臨む在学生のみなさんには、自らの明確な目標を持ち、沖縄県のために貢献できることは何かあるかを常に意識して行動し、勉学に励んでほしいと思いをしています。

最後に改めて、琉球大学同窓会の方々のご厚意を心に留め、私も自分の目標に邁進していきたいと思いをしています。ありがとうございました。

「芭蕉(ばしょう)奨学金」を受けて



医学部 3年次
佐取伸明

この度は、琉球大学同窓会奨学生「芭蕉」に採用して頂き誠にありがとうございます。私は現在42歳で、2011年の

東日本大震災のボランティアを契機に人の役に立つ仕事がしたいと思いを医師を目指しました。

私の在学中の最重要の目標は医師国家試験合格ですが、その他に税理士資格と英検1級、TOEICスコア900取得も目標としています。各種試験に関わる費用を御奨学金で賄うことができ、より一層勉学に集中できることに感謝しております。

税理士資格に関しては、私は2004年に東北大学農学部を卒業し、専攻した農業経済学で学んだ会計学の知識と企業での経理業務経験を活かしたいと考えています。また英語の資格試験に関しては、英語のレベルアップを図り英語で患者さんに対応できるようになりたいと考えています。私は将来、経営者と労働者の社会経験を活かし精神科産業医を目指しており、医師と税理士のダブルライセンスで沖縄県の医療と経済の活性化に貢献したいと思いをしています。

また、同窓会の方々をはじめとして多くの人々に刺激を与えられるような存在になれるように日々自己研鑽に励み、何歳であつてもその人の強い意志があれば必ず道は開けることを示したいと思いをしています。

教員候補者選考試験合格体験記



教育学部 2年次
上戸桃華

この度は、奨学金のご支援をいただきましてありがとうございます。私は、小学校の教員を目指しています。奨学金の奨

学生として選考され、奨学金を学費にあてることができたため、学業に専念する時間が増え、教員として働くためのスキルや知識をより深めることができました。私は国語を専門に勉強していますが、あらゆる場面で専門性を持った教員になりたいと考えています。そのために積極的に様々なこと

に取り組み、努力していこうと思います。そして、将来を担う子どもたちの手助けのできる人になりたいです。

今回、コロナウイルス等の影響があるなかで、奨学金を寄付して下さった同窓会の方々や先輩方には大変感謝しております。私を支えて下さった皆様へのご恩と感謝を忘れず、より一層推進して参りたいと思います。最後になりましたが、琉球大学同窓会の皆様、今回奨学生として採用させていただき、本当にありがとうございました。ご支援くださった全ての方々に心より御礼申し上げますとともに、貴同窓会の皆様におかれましては、益々のご発展をお祈り申し上げます。今後も変わらぬご声援のほどよろしく願います。



理学部 1年次
井上結喜

この度は琉球大学奨学金へ採用していただきありがとうございました。今回支給して

いただいた奨学金は大学生活で必要となる教科書や専門書の購入と学費の支払いに使用させていただきます。私は将来博物館学芸員を目指しており、現在は大学での授業や実際に生物を観察し資料と参照するこ

とで博物館学芸員を目指すうえで、必要となる知識を身に着けている最中です。そのために必要な資料の購入にも、今回支給していただいた奨学金を活用していきたいと考えています。今回支給していただいた奨学金により私の大学生活における学習の幅が大きく広がりました。最後になりましたが今大学での学習をより充実したものにするために、奨学金給付を希望する学生の皆さんへのアドバイスとして、私からは大学での情報収集を注意深く行うことを言いたいです。奨学金の案内を見逃さずにチャンスを生かすことも大学での学習を進めるうえで必要なことだと私は思います。

教員候補者選考試験対策講座

同窓会では、在校生及び卒業生の就職支援事業として、沖縄県教員候補者選考試験に向けた対策講座を4月6日から8月19日まで計19回実施しました。

講座内容は、一次試験対策、二次試験対策、模擬授業、面接指導等多岐に亘り、経験豊富な講師10名が指導を行い、52名（内受験生38名）が受講しました。

試験の最終合格者は11名（同窓会把握分）でした。本講座は、2023年においても4月に開講を予定しており、教職をめざす多くの在校生及び卒業生の受講をお待ちしています。

受講料は無料で、講座資料は講座毎に無料で配布します。講座日程については、事前に同窓会ホームページに掲載します。

【対策講座問合せ先】

琉球大学同窓会事務局 ☎098-895-8039
Email : dousou06@jim.u-ryukyu.ac.jp



理工学研究科
物質地球科学専攻
修士2年

橋本二千華

始めに教員試験対策講座を開講していただいた同窓会の皆様、教えてくださった講師の皆様へ感謝を申し上げます。また苦しかったとき、大変だったときに支えてくださった家族や指導教員の山田先生、地学系の先生方や皆様へ感謝を申し上げます。

教員試験対策講座を受講しようと決めたまっかけは、大学院へ進学してから勉強仲間が減り、「教員になりたい」というモチベーションを維持しづらくなったためです。実は去年も講座を受講したのですが、コロナ禍により書類配布のみでした。そのため初めて対面の講座を受講しました。教員試験対策講座では学部時代の授業で学べなかったこと（沖縄の歴史やいじめ防止対策推進法など習っていない法規等）を学ぶことができました。また講師の皆様方からのお声掛けで励まされ、一緒に講座を受講する仲間を見て頑



教育学部
数学教育専修
4年次

比嘉大志

私は令和4年度実施沖縄県教員採用試験に中学校数学で合格することができました。この合格は一人で掴み取ったものではなく、琉球大学同窓会の支援や教員試験対策講座の講師の先生方、そして一緒に切磋琢磨してきた仲間のおかげだと思っています。コロナ禍の影響もあり、大学2年生からはなかなか集まって勉強するという機会に恵まれていませんでした。そんな中、4月から開催された同窓会主催対策講座のおかげで、教職のプロである講師陣、同じ教職を目指す多くの学生と出会うことができ「勉強する環境」に恵まれました。本当にありがとうございました。

これから教員採用試験を受験する皆さんへ、いくつか私が入り組んでいたことを紹介したいと思います。

一つめは、問題集や過去問を繰り返すことです。対策講座では多くの資料や問題集が貰えて、解説や講義を聞くこ

張ろうと精神面の支えにもなりました。

私の試験対策のテーマは「積み重ね」です。小学校へ入学してから今にいたるまで、経験したこと、学んだことが一つの節目になったと強く感じています。私はかなり負けず嫌いで、テストやレポートはできるだけ満点を狙っていました。そのため受講した全ての授業の内容はほとんど覚えています。ですが全てを覚えていないため、問題を解くと何問か間違えます。1次試験（一般教養、教職教養）の対策は、教員試験対策講座で配布された問題を解き、間違えると授業の資料を見返していました。専門科目（理科）は過去問を解き、間違えた問題はノートにまとめ、たまにノートを見返していました。2次試験の対策は面接ノートを作って、質問に対して箇条書きでまとめていました。模擬授業について、学部1年生から塾講師をしていたため不安はありませんでした。

最後にこれから教員を目指される皆様へ少しながらアドバイスを書きます。今受講している授業を大事にしてください。その内容が教採に出題されるかもしれません。また勉強する仲間を見つけ、その仲間を大切にしてください。一人で勉強するのもいいのですが、皆と勉強するのも楽しいです。

とができますが、大切なのはそれを忘れないようにメモや整理をして、繰り返し取り組むことができるように工夫することです。特に、解説資料は穴あき問題を自分で作成したり、大切なところにマーカーを引いて毎日読む資料にするなど加工しました。

二つめは、今までの経験・体験を整理することです。これは、一次試験の前に提出する受験調査の作成や二次試験の面接で必要になると思います。他の受験生と比較して、自分には強みが無いとネガティブになりがちですが、「ある経験に対してどんなことを学んだか・考えたか」を大事にしてほしいです。学び考えたことについて熱意をもって伝えることで自分の人間性を伝えることができたと考えています。

三つめは、意見交換です。主に二次試験の模擬授業・面接の対策で、同じ受験生や講師の先生方に何回も見て頂き、意見を貰うことで、模擬授業や面接に磨きがかかりました。

また、他の人の対応に疑問を持ち、助言をすることも自身の成長に繋がると思います。

最後に、教員採用試験の合格はゴールではなく出発点だと考えています。沖縄県の未来を支える「人財」を育成する使命を持って、学び続ける教師になりたいと思います。

同窓会活動

岸本正之氏顕彰碑記念日セレモニー

2022年4月25日午前、大学構内「首里の杜」に建立された岸本正之氏顕彰碑前に同窓会役員と琉球大学総務課基金室の職員が集まり、周辺を清掃後、同氏の功績を讃えるセレモニーを開催しました。

セレモニーでは、幸喜徳子同窓会会長が、同氏のプロフィールや功績、顕彰碑建立経緯、同氏の多大な寄付金を財源として設立された岸本基金について紹介しました。

更に、安室道代琉球大学総務課基金室長代理から、

2017年度から延べ53名の海外研修・留学生へ岸本基金から支援金を支給したことの報告がありました。

最後に、宮城重哲同窓会評議員が、岸本氏からのメッセージを披露しました。

○アメリカで開花した大学遺贈基金(University Endowment)文化を日本でも広げることが大切で、そのための啓蒙運動を皆さん一緒に盛り上げましょう。

○子や孫が学費を心配せずに学位を取得できる時代が、一日も早く到来することを願っています。

【岸本正之氏顕彰碑記念日】

岸本正之氏(1957年英文科卒、米国在住の実業家)は、長年に亘りグローバルな環境保全や慈善活動を継続しているほか、琉球大学及び同窓会に対しても多大な支援をしている同窓生で、当会の名誉顧問である。

同窓会では、同窓会創立60周年記念事業の一環として、2015年7月琉球大学構内に同氏の顕彰碑を建立、2018年4月に「岸本正之氏顕彰碑記念日」を制定し、毎年4月に顕彰碑周辺の清掃とセレモニーを行い、同氏の功績を讃えている。



ご寄付を頂いた個人・企業等

(受付月日順、敬称省略)

同窓会への寄付 (2022年1月～12月)

寄付総額 2,144,000円

高良 初枝	平識 精光	山里 恵子	眞榮城航大
沖繩ガス(株)	松田 茂安	平川 周弥	赤嶺朝榮・安子
大城 純市	桃原 次男	知念 正直	前田 初枝
福里 重盛	奥間 海	永山邦夫・玲緒奈	津波 徳治
宮平 良恒	泉水 朝見	橋本 雅文	神村 洋子
楠 和起	井上 俊郎	新島 ユキ	照屋 絹代
島袋 京子	古堅 幹也	藪谷 冬輝	田中 隆文
伊良波政彦	岸本 一夫	新城 浪夫	比嘉 善彦
與那城安弘	砂川 睦博	桑江 良光	大城 守
光通信工業(株)	泉 祐正	小橋川勝子	山田 義文
上原 勝正	宮城 彩華	山城 貞孟	小波本直忠
照屋 忠敬	山城 善信	上地 英由	森満 裕幸
波平 正	平安名盛智	又吉 康彦	仲村 洋子
座波 朝正	満名 敦史	當銘 恵子	里 寛治
匿名	仲田 武男	大城宜実・真理子	金城 弘
伊藤 タケ	神山 定久	平良 泰一	當間 弘子
松田 有朝	琉球大学医学部	桃原 正榮	島袋 盛康
志良堂保夫	医学科同窓会	國吉 真介	名嘉 政修
田中 豊三	與那嶺盛仁	譜久島哲三	大山 智子
大浜久美子	友寄隆一郎	我那覇純子	阿部 典恵
仲本 道子	平識 兼一	村田 典枝	大城 直樹
荒木 秀夫	宮城 拓実	金城 久盛	古謝トシ子
山城 幸儀	長谷川洋介	与那嶺清子	与那嶺 薫
仲本 敦子	前原 武光	澤岷 純子	岸本 正之
伊豆味正吉	栄野川栄子	神里 明子	

ご芳志誠にありがとうございます。学生支援(給付型奨学金や教員候補者選考試験対策講座など)に有効に使わせていただきます。

支部活動報告

支部長及び事務局長連絡先

支部(会員数)	名称	氏名	電話番号	住所・E-メールアドレス
関東(590)	支部長	高山厚子	03-6226-2200 (中島信一郎法律事務所)	〒104-0061 東京都中央区銀座 4-9-6 陽光銀座三原橋ビル6F(中島信一郎法律事務所内) takayama2002atsuko@yahoo.co.jp
	事務局長	金城利光	080-5020-4369	ryudai.kanto@gmail.com
関西(150)	支部長	裁 亀吉	080-5317-2830	〒639-2131 奈良県葛城市林堂 344-4
	事務局長	海勢頭 聖	06-6674-5841	〒559-0006 大阪市住之江区浜口西 2-11-6-203
九州・山口 (100)	支部長	松下博文	092-925-9160	matusita@chikushi-u.ac.jp
	事務局長	四郎丸 治	090-1346-4682	〒820-0064 福岡県飯塚市津島 405-2 ピアノカ 2-102号 shirou@ka2.so-net.ne.jp
奄美(200)	支部長	奥田敏文	090-9590-8602	〒894-0047 鹿児島県奄美市名瀬大字知名瀬 2504 愛の浜園 too@po.synapse.ne.jp
	事務局長	岡村 誠	0997-54-2030	makototao@flute.ocn.ne.jp
久米島(60)	支部長	儀間周倫	098-985-8956	〒901-3105 久米島町字字根 54
	事務局長	平田光一	090-9782-5663	〒901-3115 久米島町字儀間 494
宮古(300)	支部長	根間俊明	090-2464-6022	〒906-0011 宮古島市平良字東仲宗根添 909-5 nema@themis-ocn.ne.jp
	事務局長	平良雅則	0980-72-9860	〒906-0012 宮古島市平良字西里 675-3 qqh47349k@rondo.ocn.ne.jp
八重山(200)	支部長	眞榮田義功	090-3794-4390	〒907-0014 石垣市新栄町 13-8
	事務局長	仲皿利治	090-2395-0769	〒907-0022 石垣市字大川 450-13

関東支部

支部長 高山厚子

同窓の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、同窓会関東支部でございますが、2019年以降の新型コロナウイルスの世界的な流行・蔓延と国内において繰り返される患者数の急増に伴い、この3年ほどは活動が全くできていない状況です。この間、役員会・幹事会を何回か招集し、毎年秋口に実行してきた総会・懇親会の開催を模索してきたのですが、会員には高齢の方も多く、万が一にもクラスターが発生した場合には取り返しのつかないことになるとの懸念から、2020年、21年、22年と開催を断念してきまし

た。

2023年につきましては、コロナウイルス禍の終息が大前提ですが、以前同様に、「10月第3土曜日(10月21日)は琉球大同窓会関東支部の日」のスローガンの下、総会・懇親会の開催をぜひ実施したいと思います。そこに向けて、この3年間休刊してきた会報誌『芭蕉誌』を以前よりは早い時期に発行すべく準備を始めています。

世界的なパンデミックの流行が終焉し、再び平穏な日常が戻ることを切に願います。



西田学長をお迎えして開催された第26回総会・懇親会(2019年10月)

関西支部

支部長 裁 亀吉

関西支部では例年7月に総会・懇親会を、11月には昼食会を開催しておりますが、今年度も2020年、2021年に続きコロナのため何れも3度目となる中止となりました。役員会の会合も持てない状況の中、会員の皆さんから

の寄稿を戴き、何とか会報の発行にはこぎつけることが出来ました。2023年こそは会員の皆さんと直接お会い出来ることを祈り、過去の写真にはなりますが、添付致します。是非またお元気な姿でお会いしましょう。



水鳥の群れる有田川の風景(2016年秋の昼食会)

◀2017年秋の昼食会の食事風景

九州・山口支部

支部長 松下博文

◆九州・山口支部/福岡にて11月に開催予定

みなさまいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスも季節性インフルエンザと同類の「5類」に移行されることになり、ようやく活動再開の目途も立って参りました。11月には福岡で45年ぶりの支部総会・懇親会が開催できそうで

す。初対面・再会入り混じって、いつものように、ワイワイガヤガヤ、にぎやかにユンタクしましょう。具体的な日時・場所等は9月初旬頃にご連絡いたします。お知り合いのOB・OGの皆様にもぜひお声かけください。元気にお会いできることを楽しみにしています。過年度分の諸報告は総会でまとめて行います。



◆アーカイブ：2005年度(平成17)第4回総会・懇親会の写真
10月8日、福岡市渡辺通の琉球料理「がちまやあ」での写真です。同窓会本部から比嘉正幸会長、宮城武久事務局長、大学から岩政輝男副学長、山城康正教授がお見えになりました。この年に新川和夫初代支部長から照屋常信2代目支部長にバトンが引き継がれました。



◆アーカイブ：1979年(昭和54)頃の登録風景(『琉球大学50年史写真集』より)

なつかしい登録風景の一コマ。単位がとりやすい人気科目(教員)から順次定員が埋まってしまい、その場であわてて登録用紙を書き直した記憶も多いはず。体育館をあちこち走り回って、結局、外れくじを引いて単位を落とした人も……。今となっては楽しい思い出です。若かったなあ。いま、走り回ったら息切れしますね。

奄美支部

支部長 奥田敏文

復帰活動に尽力した先達に倣い活動再開を目指して

幸喜徳子会長をはじめ琉球大学同窓会の皆様には、大変ご多忙のなか本支部の活動にご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

前任の川内支部長から引き継ぎ、すぐに役員会などを実施したいと考えておりましたが、奄美においても新型コロナウイルス感染症の度重なる流行などにより、全く活動ができない厳しい1年となりました。

2022年は沖縄県が復帰50年を迎えましたが、2023年は奄美群島が1953年12月25日に復帰して70年の節目となります。奄美の復帰運動は、統治下で先達が、断食祈願や全島民を巻き込んだ署名活動など苦労を重ねて勝ち取った苦難の歴史だと同っています。

私たちも、このような歴史に学び、コロナ禍にあっても感染予防対策を万全にしながら、まず役員会等を開催し、できる活動から再開させたいと考えております。

奄美にはアマミノクロウサギなど固有の動植物が多数生

息しており、世界自然遺産登録の効果もあり、観光で島を訪れる人も増加しています。

2023年は卯年ですので、このクロウサギにあやかり、本支部も良い年になるよう努めてまいりますと思います。

さらに、同窓会本部や他支部との交流などにも参加できるような晴れやかな1年になることを期待しております。



アマミノクロウサギ

久米島支部

支部長 儀間周倫

2021年度の活動報告 (2021年10月～2022年9月)

2021年11月に評議員会で総会の提出議案について審議、同月29日に支部総会を開催しました。コロナ感染拡大のため同窓会本部、琉球大学への案内を控えた支部総会にしました。2022年3月に琉大合格者激励会を開催し、将来の久米島に貢献できるよう期待し激励しました。7月に入り、会員の健康作りの一環として親睦パークゴルフ大会を開催しました。先輩の会員、少し若い会員、日中海岸沿いの大空の下でのプレー、やはり熟練されたテクニックを持つ先輩方の勝利でした。

11月に入り、19日に地域の活性化及び子供達の健全育成を趣旨としたAOPA-JAPAN航空祭in久米島の取り組みに数名参加しました。

また、同月29日に幸喜会長、大城副会長の御出席を頂き、講話、総会、懇親会と意義ある会を開催しました。

講話は、久米島出身の安村庸氏(元歯科医師)による、「久米島の教育制度の変遷」をテーマに、久米島の方々の教育に対する熱意(子どもたちに教育を)に思いを馳せながら、

島出身の教員が増えて、地域と学校の連携が深まることを思い描ける素晴らしい講話でした。

2022年度の活動計画 (2022年10月～2023年9月)

- ① 支部総会 (11月29日)
- ② 本部定期総会へ参加
- ③ 新会員の歓迎、激励 (総会時又は適時)
- ④ 大学、町内各学校、関係団体との連携 (適時)
- ⑤ 親睦レクリエーション (パークゴルフ大会、その他)
- ⑥ 琉大合格者、在学生激励 (連携強化、交流会)
- ⑦ その他 (臨機応変に対応)



宮古支部

支部長 根間俊明

2022年 宮古支部活動報告書

琉大同窓会宮古支部は、会員相互の親睦、琉球大学との連携、地域の子供教室を主体に活動しているが、新型コロナウイルスの感染拡大により、今年計画していた2022年度定期総会を含め活動の実施を一部見送りました。

コロナ禍で社会環境が厳しい状況の中で、2022年12月12日(月)第1回役員会を開催しました。

役員会では、支部長他4名の役員が出席し、活発な意見が交わされました。琉球大学に在学する学生の父母会を結

成し、支部活動を活性化したらどうですかとの意見が出され、父母の氏名、住所を琉球大学同窓会本部に問い合わせ、父母の会結成に向けて、本部に協力依頼することを決定しました。

2022年12月22日元支部長の長濱幸男グラウンドゴルフコートにて親睦グラウンドゴルフ大会を開催しました。大会は、日頃の運動不足を補い、珍プレイ続出で大いににぎわいました。親睦会は昔話に花が咲き大いに盛り上がりました。(参加者16名)



2022年12月12日(月)役員会



2022年12月22日(木)親睦グラウンドゴルフ大会

八重山支部

支部長 眞榮田 義功

2022年

◇3月15日 琉球大学合格者激励会 (場所:八重山高校)

今年度の現役合格者は工学部3名、教育学部3名、医学部1名、農学部1名の計8名。八重山高校、八重山商工、八重山農林の3校から合格者がありました。

生徒たちは卒業式を無事に終え、琉大進学のため島を離れるその準備等で忙しい中、集まってくれました。激励会では眞榮田支部長から「それぞれに将来の夢をかなえるべく進学すると思います。自分の信念を持って、しっかり目標を定めて勉学に励んでほしい。また、大学では知識だけでなく視野が広がり人間関係も広がります。人との出会いを大切に大学生生活を充実したものにしてほしいと思います」と励ましの言葉が贈られ、お祝い金が渡されました。

◇6月 2022年度八重山支部定期総会 (書面開催)

新型コロナの影響で、今年度も参集型の総会が実施できず、資料の送付をもって実施とさせていただきました。役員の変更は無く、令和4年度も下記の役員でスタートしています。年内の活動はできませんでしたが、年明けに新年会やグラウンドゴルフを計画しています。新しい年が琉大同窓会すべての会員の皆様にとって希望にあふれた良い年となるようお祈りしています。

【役員】 支部長:眞榮田義功
副支部長:宜野座愛子・前上里徹・宮良永秀
事務局長:仲血利治





活躍する同窓生

interview

インタビュー

街クリーン株式会社 創業者

赤嶺 和雄 氏 (80)

1965年卒 13期 農学部林学科

(1970年)でした。27歳のとき、自分自身「まったく会社の役に立たないなあ。辞めよう」となりました。

■その後どのように道を開きましたか。

私は常に劣等感で生きていました。40代までそうでした。高校や大学の同級生には会いたくないなあと思っていました。

27歳のとき、京和土建という会社を立ち上げました。名前の由来は「京」が数字表記「兆」の上、和は私の名前から一文字取って付けました。当時はチャレンジという情熱のようなものは全くなく、とにかく必死でした。

■いまでは他にも会社を立ち上げていますね。

そうですね。50歳になって街クリーンという会社をつくりました。最終処分場を持っているのが強みで、東急ホテル(当時)や東町会館(同)、日銀那覇支店などの建物解体工事を行いました。従業員も今では120人の大所帯になっています。

また、農業法人の八風(やふう)畑 満天の事業も始めました。いずれも子どもたちに引き継いでおり、会長職として相談に乗っています。

■すごい、成功ですね。ところで趣味など教えてください。

読書ですね。小学5年のころから読書する習慣がありました。地域に喜屋武文庫というのがあった影響ですね。お金はないが、時間はあるという感じでした。私を豊かにするのが読書でした。作家で言えば、石川達三、三島由紀夫、宮本輝らですが、有名な作家はほとんど読みました。最近面白いと思って読んでいるのは、林真理子ですね。

時間があるときは本屋で3時間ほど「遊んで、います。一番なりたい仕事は作家ですが、絶対なれないよね(笑)。

■琉大の学生たちにエールを

「ケータイ(電話)を置いて、読書をしなさい」と言いたいですね。インターネットを開いていると、いろんなことを知ったような気分になる。そんな感じだと思います。私は読書の習慣があって幸せだったと思っています。

■まず琉大に入るいきさつを教えてください。

大学進学を考えたとき、「どの学科が将来就職しやすいですか」と先輩に聞いたところ、「林学科」を勧められました。私は南部農林高校だったので、ちょうどいいかなあと思いました。

■入学してどうでしたか。

入学してからアルバイトばかりやって、1年の前期で取るべき単位の半分も満たしていませんでした。そのため夏休み期間中に大学の職員に呼び出されて「学校に来る意志はあるのか」と言われました。実は当時、両親は病気ですでに亡くなっており、私は苦学生だったんです。大学からの帰り道、就職のお願いをしようと南農の校長だった仲田豊順先生の自宅を訪ねました。しかし、不在で、結局大学に残る形になりました。

高校時代は一生懸命勉強していましたが、大学に入ると開放感からなかなか抜け出せなくて、成績も良くなかったですね。奨学金申請をしましたが、外れました。

■当時はどのようなアルバイトを?

港湾労務がありました。大学の体育館前に集まって勤務先に向かいました。船の中のセメント袋を出したり、正月はミカンを運んだりしました。今のようにフォークリフトなどはありませんでしたので、手作業です。ほかには出身の地域(南風原町喜屋武)で家庭教師もやっていました。地域の人に紹介してもらったのでほんとに助かりました。

■就職はどうでしたか。

琉球化学工業(当時)というベニア加工の会社があり、1次試験合格のあと大学の恩師にも推薦状を書いていただいて、就職することができました。サトウキビのバガスを利用して板を製造する。従業員が1000人以上いて、私は夢を持って入社しましたね。ただ、その後本土の大手メーカーに売却したあと、不幸にも火災が発生して工場は閉鎖、やむなく退職しました。

そのあと、建て売り住宅の会社に就職しました。5年ほど勤めましたが、サラリーマン最後の給与は99ドル

各方面で活躍する同窓生を紹介します。今回は街クリーン株式会社創業者の赤嶺和雄氏、IT企業(本社・東京)株式会社ゆめみの最高技術責任者大城信孝氏に学生時代の思い出や現在のお仕事についてのお話をお聞きました。(文責・上原修)

株式会社ゆめみ 最高技術責任者

大城 信孝 氏 (37)

2010年卒 58期 工学部情報工学科

■大学入学の動機を教えてください。

もともとテレビゲームが好きでゲームクリエイターになりたいと思っていました。小学校の頃からコンピューターに触っていて、高校時代はインターネットに興味がありました。それで情報系の学科に進みたいと思い、きょうだい琉大に行っていたので、私もそこに進学を決めました。

■あとで学業のことをお聞きしますが、その前にサークル活動などの思い出を。

大学では吹奏楽と合気道をやっていました。吹奏楽部は週3回の活動で、私はクラリネットを担当していました。年1回の定期演奏会やコンクールへの出場、それから地域の演奏会に参加することもありました。

合気道も週3回ありました。年に1回昇級・昇段審査がありましたが、夏場はそれに向けて渡嘉敷村で強化合宿をやっていましたね。

■大学の勉強をしながら2つもサークル活動をこなすとは、時間の隙間がないほど忙しかったそうですね。ほかアルバイトもやったんですか。

そうですね。学科の担当教官から紹介があって、琉大の総合情報処理センター(当時)でアルバイトをやりました。週に2、3回の勤務でした。実は3年のとき、学業に身が入らなくなって休学し、1年間非常勤職員として働きました。仕事内容は学内のコンピューターネットワークを管理するもので、トラブルがあったときなどにも対応していました。コンピューターの知識を持っていたので、職員が困っているときにサポートをすることができました。コンピューターネットワークの面白さを知ったのと、座学で学んだものが生かせると思い、また復学することにしました。

■講義はこなせましたか。

中には難しい講義もありましたが、全体的に面白かったです。だいたい問題なくできました。

■卒業研究は?

「健康診断の予約システム」についてでした。当時琉大では紙ベースで予約をしていたので、これをシステム化してみたらどうだろうかということで取り組みました。しばらく



の間、実際に大学でこのシステムが使われていたみたいですね。

■そうですか、それはすごいですね。ところで恩師はどなたですか。

いろんな先生にお世話になりましたが、情報処理センターを紹介してくださった谷口祐治先生や、1年と大学院のころに指導してくださった長田智和先生ですね。

■卒業後、現在の職場は?

東京に本社がある、IT企業のゆめみに2016年入社しました。インターネットサービスの企画・開発、運用支援などが主な業務です。この会社ではプリチストン、au、マイナビ、最近ではスタートアップ企業のMakuakeなど多くの企業をサポートしていますが、私はKFCなどに関わりました。ゆめみという会社は、技術的な検討などメンバーにいろんな権限を付与していますね。私はCTO(最高技術責任者)という役職をいただいています。

■今職場はどこですか。

新型コロナウイルスの流行の関係で、私は在宅(埼玉県)で仕事をしています。ちなみに従業員は同じように北海道で仕事をしたり、海外ですと韓国、オランダ、アメリカなどで働いています。

■今後の目標は?

技術力を高めて世の中の役に立つ仕事をしたいですね。

■琉大の後輩にエールをお願いします。

沖縄で閉じちゃうともったいないので、県外でもチャレンジしてほしい。オンラインで面接を行う会社も多くなっているので挑戦してほしいですね。うちの会社もフルリモートワークができるのでチャレンジしてみてください。

仕事をする上では素直さと、何でも吸収しようという情熱、それからハングリーさが大事だと思います。また約束の時間は守ること。こちらでは沖縄タイムには気を付けてほしいですね。

海外で活躍する同窓生 ～ ニューヨーク在住の空手家 ～

2022年11月上旬、世界のウチナーンチュ大会に合わせてニューヨークで空手道場を営む比嘉照行氏78歳が弟子2人を引き連れて沖縄に戻ってきました。

同氏は、琉球大学を卒業後、母校や琉球政府の職員を経て、1972年単身渡米し、ニューヨークで空手道場を開き現在に至っています。

11月4日、豊見城市の沖縄空手会館で、同氏は、渡米50周年を祝い、弟子と共に演舞を行った後、二本指で100枚の板を連続して割る荒技を披露しました。

荒技では、70枚を過ぎたころから、骨折を心配する司会から「もうここら辺で終わってもよろしいかと」と声が掛かったが、気にかけることなく最後までやり通し、「名護マサー」の意地と実力を示して周囲を驚かせました。

11月10日、同窓会では、同氏を招いてささやかな歓迎昼食会を持ちました。

比嘉 照行 氏

1967年英文科卒 名護市出身

歓迎会では、同氏の学生生活、就職、渡米、ニューヨークでの空手道場開き、結婚、空手の指導方法など、タイムスリップしながら話をいろいろと伺いました。

同氏は、アメリカ人に合うように、音楽に合わせて行う実践形式の実技を考案したほか、マンツーマン指導に徹するなど、沖縄空手の伝道に情熱を燃やし続ける現役の空手家です。



開学70周年の回顧

「開学70周年の回顧」シリーズ。最終回では、弁護士として活躍される當真正姫氏(法科大学院1期生)と新田繁睦氏(教育学部社会科教育専修55期生)に思い出を記していただきました。



20年以上経た今だからこそ 痛感する貴重な財産

弁護士

當真正姫 氏

法科大学院1期生 2007年修了

法科大学院入学

私は、弁護士になりたいと、琉球大学卒業後、就職せずに司法試験の勉強を続けていました。しかし、合格することができないまま、結婚・妊娠に伴い、司法試験の勉強を一時中断していました。

平成16年4月、法曹(弁護士・検察官・裁判官)の人数を増加するためという司法制度改革により、他の大学と同様に「琉球大学法科大学院」が開設されることになりました。私は、沖縄に住み続けながら弁護士になるための勉強ができるということで、琉球大学法科大学院を受験し、1期生として入学することになりました。

法科大学院入学時には、私の子どもは1歳になったばかりでしたが、親族の協力を得て、法科大学院に通うことができました。

多様なバックグラウンドを有する同級生達

法科大学院は、法曹に必要な学識及び能力を培うことを目的とする専門職大学院です。設立当時、法科大学院出身者の合格率は7～8割と想定されていたこともあり、年齢もバックグラウンドも様々な同級生がたくさん入学してきました。1期生だと、上場企業、医師、パイロット、官僚、県外の有名大学出身者などです。私は、沖縄県以外で暮らしたことがなかったため、県外出身者や県外の大学・有名企業に在籍していた方々と同級生となって、切磋琢磨して励まし合いながら勉強することにとっても刺激を受け、充実した学生生活を送っていました。

私が、子どもの病気等で学校を休んだ際など、他の同級生が私の代わりにノートを取ってくれるなどで助けてくれたことも一度だけではありません。そのときにできた友人は、



修了式会場にて、式服(アカデミックガウン)を着てポーズを決める修了生。前列の右から4番目が當真さん。

卒業から20年以上経った今でも、非常に大切な友人の一人です。

司法試験受験

司法試験の受験においては、同級生と共に勉強しあい、相互に影響しあう環境がうまく設定されたこともあり、琉球大学法科大学院1期生は多数の合格者を出し、全国の法科大学院の中でも優秀な成績を収めました。私も無事に1回の受験で合格することができました。現時点での琉球大学法科大学院出身の合格者数は、合計77人となっています。

現在、法科大学院制度が発足した当時設置されていた法科大学院数の約半数が廃校・募集停止に至っており、九州では、琉球大学法科大学院を含めて3校(九州大学、福岡大



課外研修からの 実践

株式会社CSDコンサルタンツ
専務取締役/経営コンサルタント

新田 繁睦 氏

教育学部 社会科教育専修
55期 (2007年卒)

NHK連続テレビ小説「ちゅらさん」、BEGIN、MONGOL800、HYなど沖縄ブームが再燃している中キャンパスライフを過ごしました。県外からの進学した友人も多く、県内・県外の比率が半々の中、学びを深めました。

私たち社会科は教員になることを目指して県内5人、県外4人の9人の少人数学科としてスタートしました。特殊な学科だったため、出入りがあり4年後には7人で卒業しましたが15年経った今でも深い交友が続いています。

その大きなきっかけとなっているのが、1・3研修と呼ばれる課外研修です。同窓会から交通費の支援を受け、座間味島で1泊2日の時間を過ごします。何もわからない1年生にとっては、世界が恋する海で遊び、食べて飲んでの時間を中心に懇親を深めるイメージを持って臨むのですが、本来の目的は別のところにありました。

本格的な夏休みに入る前に前期を振り返り、今後の学生生活をどのように過ごしていくべきなのかを3年生の先輩方と一緒に考える機会です。また、共通教育から専門教育に徐々にシフトしていく中での心構えや専門領域の方向性を見定める機会でした。

学)のみとなって、法科大学院は厳しい状況になっています。もともと、琉球大学法科大学院は、地方の小規模法科大学院として、モデルケースとなるような存在として、現在も注目され続けています。

今だからこそ痛感する貴重な財産

琉球大学法科大学院は、私のように、家庭・仕事の事情や経済的な事情から沖縄を離れることに困難を抱える地方在住者が、地方に住み続けながら弁護士になる教育を受けることができる素晴らしい学校でした。そのことも然る事ながら、卒業後20年以上経た今、その時に得た視点や人脈が、非常に重要な財産であったことを深く痛感している状況にあります。有名な経済学者の方が「学歴よりも人生経験重視」と述べているようですが、本当にその通りだと思います。コロナ禍の影響により、オンライン授業等が受けやすくなり世界各国へ繋がりがやすくなったこれからの時代は、さらに、学生時代、どのようなことを学んだか、どのような人脈を築いたか、どのようなことを経験したかということが、私の学生時代よりも重要になっていくと思います。

学生の皆さん、どうか、たくさん楽しんで、たくさん学んで、様々な経験をして、精一杯学生生活を謳歌して欲しいです。同窓生の皆様、共に琉球大学出身者として、琉球大学や沖縄、さらには日本を盛り上げていきましょう!!!

宿からビーチまでの道のりでは、集落の成り立ちや文化形成について人文地理、ビーチでは海岸線の成り立ちや島の地形について自然地理、島の歴史や沖縄戦についての歴史学や社会科教育、離島自治体としての課題や展望についての行政学、社会学や哲学も含め、生活の中に社会を構成する要素があり、教員を目指す私たちがそこに関心を寄せ学びを深めていく必要性を大きく感じ、その後の学び方、生き方を強く意識する研修となりました。

2年後には3年生となった私たちが学びや生き方との向き合い方を伝える立場となり、先輩たちから頂いた気づきを全力で伝えました。いつから始まったのかもよくわかりませんが、今でもこの伝統が続いていると思います。

この気づく機会がきっかけになり、地域社会に向き合う密度が濃くなりました。大学2年生の冬には、北海道教育大学釧路校との1期目の交換留学生として派遣され、半年間の北の地の生活から多様性を学びました。

大学3年、4年には地元うるま市の総合計画策定に審議会委員として関わり、学びと実践に取り組みました。他にも若者の投票率向上を目指した選挙啓発活動を率先して行い、地域社会への提案もさせていただきました。

地域社会とのつながりが強くなったため、企業や地域へ直接関わるため民間企業に勤めることになりましたが、ありがたいことに教育にも外の立場から関わる機会を現在もいただいています。

学科での1・3研修が、お互いに議論し、切磋琢磨しあう関係を作ったきっかけで、今も成長しあう関係が続いており、振り返るとお互いに生き方を定めるターニングポイントでした。

琉球大学役員との意見交換会

2023年1月31日、大学から西田学長と牛窪理事の2名、同窓会から幸喜会長、当真副会長、藏下副会長、喜屋武事務局長の4名、計6名が出席して、コロナ禍で見送りしていた意見交換会を3年振りに開催しました。

会長、学長あいさつの後、学長から、これまでの同窓会の大学及び学生に対する支援活動への謝意と継続支援の依頼があったほか、同窓会長からは、同窓会創立70周年記念事業及び給付型奨学金の授与に向けた奨学生候補者推薦への協力依頼を行いました。

この3年間を振り返り、コロナ禍でオンライン授業を余儀なくされて学友との交流が制限された学生の将来に各人が思いを馳せ、これら学生を応援すべく、今後とも大学と同窓会が共に協力していくことを確認しました。



琉球大学同窓会事務局 (50周年記念館内)



琉球大学 OB・OG 交流会

琉球大学キャリア教育センターでは現役学生のキャリア形成を目的に「琉球大学OB・OG交流会」を2月16日にオンラインで開催しました。

社会で活躍するOBやOGから現在のキャリア形成に至るまでの過程や、社会人として求められることなどのアドバイスが現役大学生向けに行われ、学生が自らのキャリアを考える機会になりました。

琉球大学キャリア教育センターでは、現役学生のキャリア形成のために卒業生の皆さまと交流を求めています。次回開催は6月以降で調整中。琉球大学キャリア教育センターのホームページでご案内予定です。



グループで話す【5つのお題】

長所と短所を教えてください。短所の改善方法は？	会社を選ぶ基準(理由も含め)	今までの人生で最も大きな挑戦は何でしたか？	挫折経験はありますか？	リーダーシップを発揮したエピソードを教えてください。
-------------------------	----------------	-----------------------	-------------	----------------------------

時間内に2つできれば別のお題でも、全然違うお題でもOK

「沖縄型循環社会」をめざして

街クリーンGROUP

取締役会長 赤嶺和雄

代表取締役社長 赤嶺太介

母 校 情 報

琉大ミーバイに込めた思い

琉球大学では科学技術振興機構（JST）の支援を受けた共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT：育成型）を2020年度から開始しました。COI-NEXTは大学等が中心となって未来のありたい社会像（拠点ビジョン）を策定し、その実現に向けた研究開発を推進するとともに、プロジェクト終了後も、持続的に成果を創出する自立した産学官共創拠点の形成を目指す産学連携プログラムです。琉球大学のプログラム名は、「資源循環型共生社会実現に向けた農水一体型サステナブル陸上養殖のグローバル拠点」、拠点ビジョンとして「私たちは農業と水産業の垣根をとりさり、世界の若者が主役として食を育て提供する循環社会を実現する」を設定しています。このプログラムを進めることで、水産業を陸の産業へと転換しつつ農業との親和性を高め、若者が希望をもって参画できる新たな一次産業を創出することを目指しています。2022年度4月からは本格型に昇格し、今後10年間続ける予定の大型プロジェクトです。

沖縄の重要な養殖魚となっているヤイトハタ（沖縄方言：アーミーバイ）をモデルにして、私たちは消費者にとって安心安全で美味しい魚を早く健康に育てる技術の開発に取り組んでいます。研究開発成果の一つが「琉大ミーバイ」です。「琉大ミーバイ」は琉球大学の技術で育てたヤイトハタ自身やこのヤイトハタを使った商品につける名称です。「琉大卒のサカナたち」とともに商標を取得し、二つの名称を使いながら商品販売を行っています。

商品開発の第一弾は「琉大卒のサカナたちシリーズ①琉大ミーバイで作ったアクアパッツァ」でした。これは



琉球大学研究推進機構共創拠点運営部門長
竹村 明洋（理学部教授）



琉球大学の学生と企業がタッグを組んで開発した商品で、パッケージデザインやレシピなどを議論しながら決定しました。この商品は日本トランスオーシャン航空や琉球エアコミューターで機内販売され、短期間に完売しました。第二弾は「琉大卒のサカナたちシリーズ②琉大ミーバイのお味噌汁」を開発しました。このような商品に加えて、イオン琉球での鮮魚販売、ホテルオリオンモトブリゾート&スパのレストランでの料理提供、琉大生協での琉大ミーバイを使った定食提供、さらには中城村のふるさと納税返礼品など、持続可能な出口を見据えた様々な取り組みを行っています。これらの取り組みの多くに学生や若手研究者が関わっています。このプロジェクトを推進することで次世代を担う若者達が様々な場面で主体性を発揮して活躍する仕組みを構築し、それを琉球大学に根付かせることを目指しています。

「琉大ミーバイ」を使った私たちの取り組みは始まったばかりです。琉球大学を巣立った若者達が社会の中心になる頃には、沖縄の「琉大ミーバイ」が世界の「琉大ミーバイ」になって行くことを夢見ています。



サークル活動報告

琉球大学吹奏楽部

琉球大学吹奏楽部は、毎週火・木曜日の18時から21時、土曜日の13時から17時まで活動しています。今年私たちは第62回沖縄県吹奏楽コンクールにて金賞を受賞し、九州大会への出場を獲得しました。部の最上級生である3年次でさえ琉球大学吹奏楽部として九州大会で演奏するのは初めてでした。2年前はコロナ禍によりコンクールが開催されず、1年前は九州大会出場を獲得しましたが、コロナ禍での遠征を心配され録音審査となりました。そのため、私たちは九州大会で演奏できることを非常に楽しみにしていました。県大会のときより10名ほど少ない人数で挑みましたが、なんとか銀賞を受賞することができました。

現在は2023年3月4日（土）、うるま市民芸術劇場ホールにて開催される定期演奏会に向けて日々練習しています。コロナに考慮すると私たちが活動しているサークル棟は合奏するには狭すぎる状況があります。そのため、合奏の度に学内の体育館などの施設や学内で借りられなかった場合は外部の施設を自

分たちの部費から借りて練習しています。

コロナウイルスが蔓延してからというもの多くの人がコロナに左右されてきたと思います。私たち琉球大学吹奏楽部もたくさん影響を受けてきました。度重なる活動停止、イベントへの出演辞退、練習部屋の人数規制、この中でも私たちは互いに競い合い切磋琢磨しながら活動してきました。今年度の定期演奏会ではその集大成を見せられるよう、部として成長できるように精進していこうと思っております。応援よろしくお願い致します。



留学生ホームビジットの開催ご案内

～あなたもホストファミリーになりませんか～

名 称 琉球大学同窓会主催「第2回琉球大学留学生ホームビジット」
目 的 留学生に沖縄の文化や生活習慣への理解と親しみを持ってもらうための催しで、ホストファミリーにとっても異文化を知る身近な国際交流となります。
※琉球大学には、2022年5月末現在、41カ国279名の留学生が在籍
開 催 2023年6月3日（土）、4日（日）、10日（土）、11日（日）の計4回

【ホストファミリー募集概要】

1 プログラム内容

留学生の意向や次の事例を参考にホストファミリーが予め計画を立て案内する。
○ 自宅に招き、家族一緒の食事や団欒等、沖縄の家庭生活を体験してもらう。
○ 自家用車で沖縄の文化遺産等に案内する。○ その他（地域活動への参加など）

2 留学生の受入日時と人数

- (1) 日時 上記開催日の都合の良い日、時間は10:00～15:00の約5時間程度（琉球大学までの送迎含む）
- (2) 人数 1～3名

3 応募方法

ホストファミリーを随時募集しています。応募は同窓会事務所まで TEL098-895-8039
※ 応募者の登録を行い、日時や受け入れ留学生が決定しだいご連絡致します。

4 備考

殆どの留学生は、日常会話ができますので、言語のご心配はありません。友人や知人を迎えるような普段どおりのおもてなしで構いません。コロナ感染状況によっては中止もあります。

※ 国際交流をしてみませんか。皆さまの応募をお待ちしています。



社会貢献活動

航空祭 in 久米島 2022 への支援

日本オーナーズ協会（大小原健会長）主催「航空祭 2022 in 久米島」が2022年11月19日、沖縄県久米島町にある久米島空港にて開催されました。

町の活性化と青少年の健全育成を趣旨に全国のオーナーパイロット等に呼び掛け、ホンダジェットはじめ7機の小型飛行機がボランティアで参加しました。

町民約650人が来場し、子ども等も小型機を真近に見て興味深々。操縦席に乗り込み操縦桿を握り笑顔いっぱいの表情でした。日本トランスオーシャン航空、琉球エアーカーゴのパイロットやCAによる航空教室も開催され、盛況でした。



参加したパイロット、その家族、友人ら約60名により全員ボランティアで運営されました。当会久米島支部会員も積極的に協力下さいました。新垣幸子久米島支部書記は「軽飛行機をすぐ近くで見えて感激しました。来年もまた開催してほしい」と語っていました。

当会では社会貢献活動として支援をしました。



RBC「応援！18の旅立ち」への支援

いろいろな事情から児童養護施設で生活した子は、18歳で自立の道を歩むこととなります。その子供たちの自立を支援するため、琉球放送では「応援！18の旅立ち」のキャンペーンに取り組んでいますが、同窓会においてもその趣旨に賛同し、社会貢献活動の一環として、2021年に引き続き、2022年10月20日に琉球放送を訪れて同社の中村社長に支援金を贈呈しました。

贈呈の様子が琉球放送のニュースで放映され、インタビューでは、幸喜徳子会長が同窓会の社会貢献活動について紹介しました。



学部・学科同窓生動向

ぬちまーす感謝の集い

株式会社ぬちまーす 代表取締役社長 高安 正勝氏

うるま市宮城島で製塩業や製塩工場観光施設の運営を行う株式会社ぬちまーすの新工場完成と創業25周年、高安正勝社長の旭日単光章受賞を祝う「ぬちまーす感謝の集い」が1月24日、宜野湾市のラグナガーデンホテルで開催されました。

高安正勝氏は琉球大学工学部物理学科20期（1972年卒）、1997年にベンチャー企業を設立。海水から水だけを抜いて海塩を作り、純度の高いミネラルが豊富な塩が好評を得ています。

会場には各界からの代表者が来賓、関係者約200人が参加し、琉球大学同窓会を代表して幸喜徳子会長が祝辞を述べました。



医学部医学科同窓会総会

医学部医学科同窓会長 藏下 要

2022年9月19日にラグナガーデンホテルにおいて、第30回総会が開催されました。今年も新型コロナウイルス感染拡大の影響で講演会と懇親会は行わず、総会のみで開催としました。総会の中ではまず、第2回医学科同窓会若手研究者学術奨励賞の受賞者の発表と授賞式が行われました。次に審議事項の中では2024年度に西普天間地区に移転予定の大学病院ならびに医学部の工事の進捗状況が報告されました。また2031年に医学部が創立50周

年を迎えるにあたり、50周年記念事業の企画に対する提案がありました。3年前の総会から議論の始まっている医学部同窓会館の建設案については、長崎医学同窓会の視察報告が行われ、この建設案についても50周年記念事業の一環として進めていくこととなりました。

今後、大学ならびに琉球大学同窓会の皆様のご理解とご協力をいただきながら、実現に向けて取り組んで参りたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



【短歌の部】

日傘持ち浮くと思へり砂糖黍の
一本道に思ひ出を焚けば
若夏を導く者としてイルカ海に光るさう
そのやうになめらかに来て
おほどかに鳳凰木は枝ひろぐ
かつて師がめでしその陰すずし

(国文科 1969年入学 73年卒業 21期 名嘉真恵美子)

早春の風に戦く「小さき愛」
首里キャンパスの琉球小董

デラシネに恋も学びも浮遊せし
キャンパスライフはほぼ黒歴史
家族みな琉大卒業生なれど
同窓会はつひに開かず

(国文科 1974年入学 78年卒業 26期 前原 真弓)

【琉歌の部】

源河走川はいに
映ゆる黄楸紅葉はじ
松葉うぢやとも打合て
よどで眺む

歌意
流れの早い源河川に
映えるハゼの紅葉は
松葉も調和して美しく
しばらく立ち止まって
眺めたものだ

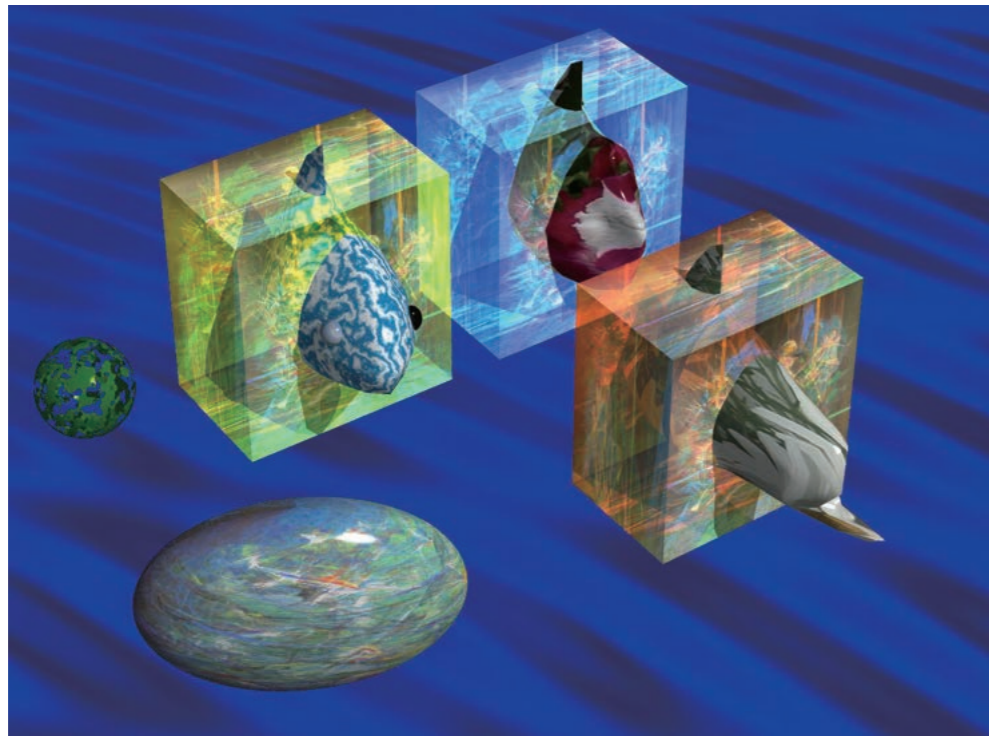
歌意
私の髪に彼が
何気なくさしてくれた野菊
花の美しさもさることながら
その清らかな情けある心に胸打たれた。
今でもいい香りが漂ってくる

(教育学部初等教育学科 山川静子)

【俳句の部】

夕星の 光束ねる 冬初め
赤銅の 月へ入り来る 天王星

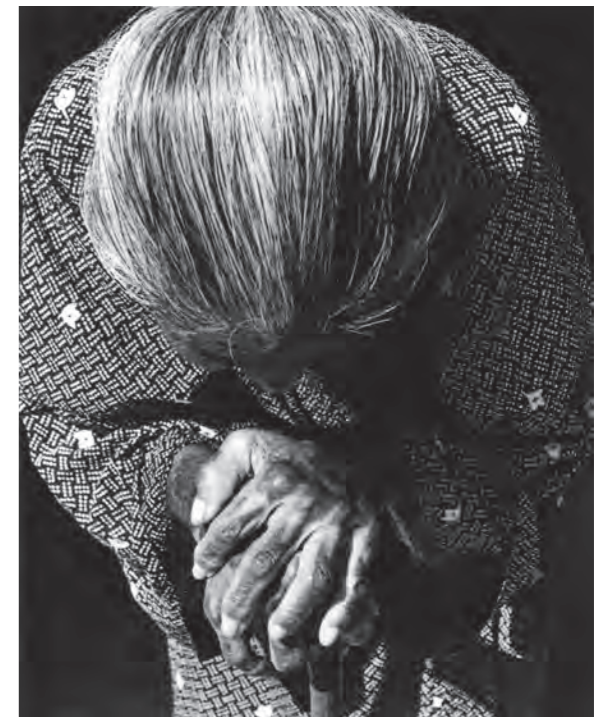
(教育学部初等教育学科 1964年入学 16期 与儀啓子)



「潮流のラビリンス」
佐久本伸光 (第21期、美術工芸科)



書道：刻字「寿」
農学部畜産学科 22期
城間英光 (瑞峰)



写真：ハヂチ
教育学部体育科 15期
比嘉清眞

Beyond the Bank

あなたの明日へ



ピザハウス本店
ピザハウス Jr.
代表取締役社長
坂本 昭司

↑ご予約

TEL.098-875-3939
住所 沖縄県浦添市港川 2-20-5

SDGs……カーライフの安心・安全をサポート

(琉大生優遇)

節約型マイカーリース (中古車) 17,000円~(税別)
(軽自動車限定: 車両&車検&修理代金込み)
格安車検・板金 (リサイクルパーツ使用) 代車あり
リースサポート琉球 (LSR)

代表 田中 俊文

那覇市金城 5-9-2-506
e-mail: taanabkac@gmail.com
連絡先: 070-5810-2665 (田中)

JAおきなわ銘柄推進協議会

JAおきなわ銘柄推進協議会
JAおきなわ銘柄推進協議会
JAおきなわ銘柄推進協議会

JAおきなわ銘柄推進協議会
JAおきなわ銘柄推進協議会
JAおきなわ銘柄推進協議会

JAおきなわ銘柄推進協議会
JAおきなわ銘柄推進協議会
JAおきなわ銘柄推進協議会

JAおきなわ銘柄推進協議会
JAおきなわ銘柄推進協議会
JAおきなわ銘柄推進協議会

同窓会活動を応援します!

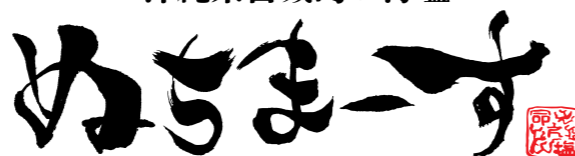


琉球大学OB一同

〒900-8525 那覇市泉崎1-10-3
TEL.098 (865) 5111 (代)

沖縄の海水100%使用。まろやかな旨味をサラッと凝縮。

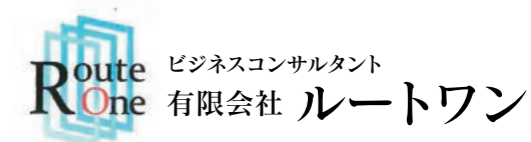
沖縄県宮城島の海塩



大城純市法律事務所

弁護士 大城 純市
弁理士
弁護士 大城 陽菜

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎 1丁目3番7
泉崎レジデンス 2階
TEL (098)860-8404 FAX(098)861-8369



ビジネスコンサルタント
株式会社 ルートワン

〒900-0012 沖縄県那覇市泊 2-12-5
MOBILE 090-9653-8860
E-mail isamu-ro@piano.ocn.ne.jp
ipad nek.is.0420@i.softbank.jp

技術と創造で地域に奉仕する
沖縄電力グループ(百添会)



代表取締役社長 久貝 博康

〒901-2131 沖縄県浦添市牧港四丁目11番3号
TEL(098)876-2535(代) FAX(098)877-9993

医療法人 寿の会
首里城下町クリニック 第二
SHURI JOKAMACHI CLINIC

腎臓病、高血圧、リウマチ・膠原病・糖尿病
循環器疾患、その他内科一般、血液透析(外来)

医師 田名 毅・比 嘉 啓
(琉大医学科 四期生)

第一クリニック TEL: 098-885-5000
第二クリニック TEL: 098-833-1001

ホームページ <http://www.shuri-jc.jp>

おきなわフィナンシャルグループ



琉球大学同窓会関東支部

支部長 高山 厚子
副支部長 中島 信一郎
事務局長 金城 利光

〒104-0061 東京都中央区銀座 4-9-6
陽光銀座三原橋ビル 6階 (中島信一郎法律事務所内)
TEL: 03-6226-2200 FAX: 03-6226-2201

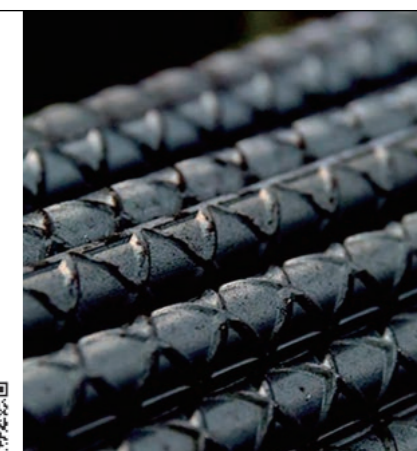


拓南製鐵株式会社

代表取締役会長 古波津 昇
代表取締役社長 八木 実



本社・中部事業所: 沖縄市海邦町 3-2-6
石灰工場: 名護市字安和 2656-2



世界に誇れる
沖縄を、
もうひとつ
つくろう。

オリオン ザ・プレミアム



NEW

Orion

オリオンビール株式会社
https://www.orionbeer.co.jp/

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は、おいしく、適量に。のんだあとはリサイクル



琉球銀行

大切な人への贈り物に。



美味しいよ



Jimmy's
Finest Foods
Bakery Heaven

株式会社ジミー

〒901-2223
宜野湾市大山7-2-20
フリーダイヤル
☎0120-012-575
http://www.jimmys.co.jp

スーパークッキー



つなげる
ひろげる
ひと未来
75th

沖縄タイムス社

Panasonic

パナソニックコンシューマーマーケティング沖縄(株)

〒901-2133 浦添市城間4丁目23番11号 TEL:098-877-1201
URL: https://www.panasonic.com/jp/company/pcmo.html

おいしい幸せ

オキコ

島と、
生きる。

おかげさまで 創立50周年



沖縄のために。これからも。

沖縄電力

ReFriends
同窓会幹事代行

同窓会したいなあ… と思ったら

専用TEL **0120-953-070**
(受付時間 月～金 9:30～12:00 / 13:00～17:00)

メール **produce@salat.co.jp**

同窓会のトータルプロデュース企業 株式会社 サラト

本社 〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172 TEL.079-284-1380
東京支社 〒110-0016 東京都台東区台東4-18-7 シモジビル5F TEL.03-3832-6381
https://www.refriends.net/

波平税理士事務所

税理士 波平 正
税理士 波平 剛一

〒901-2101 沖縄県浦添市西原 6 丁目 8 番 1 号
TEL 098-875-0852 FAX 098-875-0853
E-mail t-namihira@keh.biglobe.ne.jp

でんきもガスも!
Powered by
沖縄ガスニューパワー



沖縄ガス

沖縄ガスのでんき 検索

☎(098)863-7730(代表)

年間全日世帯視聴率
28年連続
NO.1



不動産による地域貢献を目指します



新中糖産業株式会社

代表取締役社長 上原 周夫

〒903-0103 西原町字小那覇 628 番地 1
TEL.(098)945-3311
FAX.(098)835-8179

Shinsei

新星出版株式会社

本社 〒900-0001 沖縄県那覇市港町2-16-1
(琉球新報開発ビル2F)
TEL:098-866-0741 FAX:098-863-4850
HP <http://www.s-syuppan.com>

地元と ともに



コザ信用金庫

理事長 金城 馨

〒904-0031 沖縄市上地 2 丁目 10 番 1 号
☎(098)933-1137(代表)
<http://www.kozashinkin.co.jp>

国指定伝統的工芸品「知花花織」



長浜マンゴー農園

代表者 平良雅則

〒906-0012 沖縄県宮古島市平良字西里 675-3
TEL/FAX: 0980-72-9860
(携帯): 090-5297-6369
e-mail: qqh47349k@rondo.ocn.ne.jp

土地・建物・新築分譲マンション企画販売



株式会社 恵和興産

代表取締役社長 友寄隆文
代表取締役専務 島袋 元

本社/〒902-0073 沖縄県那覇市上間 344 番地 1
TEL(098)932-7000 FAX(098)855-3350
ホームページ <https://www.keiwa-kousan.co.jp>

テレビは3チャンネル!! RBC

地域とつながる あすとつながる

RBC NEWS Link

毎週 月~金 夕方6時15分

								
與那嶺 啓	屋良 歩	沖野 綾亜	仲村 美涼	田久 保論	片野 達朗 Sports	下地 麗子 Sports	鎌田 宏夢 Sports	松澤 まゆ Weather

POINT PYURU

沖縄の自然から「美」を創造する

DEEP SEA WATER
From Kume Island

琉球大学卒業生も弊社で頑張っています!

株式会社 ポイントピュール
沖縄県島尻郡久米島町字真謝 486-12

Ryu Spa. | 

2022・2023 年度同窓会三役・名誉顧問・事務局長紹介



会長 幸喜 徳子

1966 年教育学部体育科卒 14 期
沖縄石油ガス(株) 代表取締役会長



副会長 渡久山 秀治

1987 年農学部農芸化学科卒 35 期
オキコ(株) 取締役生産本部長



副会長 当真 邦子

1964 年教育学部体育科卒 12 期
元中学校教諭



副会長 仲松 鈴子

1969 年教育学部体育科卒 17 期
元沖縄市教育長



副会長 大城 純市

1976 年法文学部法政学科卒 24 期
大城純市弁護士事務所 弁護士



副会長 藏下 要

1989 年医学部医学科卒 37 期
浦添総合病院副院長



名誉顧問 岸本 正之

1957 年語学学部英文科卒 5 期
岸本ファミリー個人慈善基金創設者



事務局長 喜屋武 正志

1978 年理工学部生物学科卒 26 期
元沖縄県警察警視

会報第 45 号編集委員



(下段左から)

喜屋武 正志 事務局長

当真 邦子 顧問

上原 修 編集委員長

平井りい子

(上段左から)

知花 安里

前泊 美紀

幸家 秀男

■ 会報第 45 号編集委員

編集委員長/上原 修

編集副委員長/比嘉 正幸

編集委員顧問/当真 邦子

編集委員/平井りい子・前泊 美紀

友利 直子・幸家 秀男

マクロイン オーティス 友美

■ 琉球大学同窓会会報第 45 号

編集発行 琉球大学同窓会

〒903-0213 沖縄県西原町字千原 1 番地

Tel:098-895-8039 Fax:098-895-8163

E-mail: dousou06@jim.u-ryukyu.ac.jp

HP: https://dousoukai.skr.u-ryukyu.ac.jp/

印刷 新星出版株式会社

2022・2023 年度同窓会役員

役職	氏名	卒業(期・年・学科)		
会長	幸喜 徳子	14	1966	体育
	渡久山 秀治	35	1987	農芸化学
	当真 邦子	12	1964	体育
	仲松 鈴子	17	1969	体育
	大城 純市	24	1976	法政
	藏下 要	37	1989	医学
名誉顧問	岸本 正之	5	1957	英文
	市村 嘉久	2	1954	政治
	比嘉 正幸	5	1957	政治学及び法学
顧問	赤嶺 健治	8	1960	英文
	波平 正	23	1975	商学
監査員	小橋川 正光	23	1975	商学
	津留 健二	4	1956	政治学及び法学
評議員	上原 政英	8	1960	畜産
	宮城 吉通	13	1965	畜産
	新城 勇	17	1969	機械
	照屋 寛八	17	1969	音楽
	奥 キヌ子	18	1970	家政
	石川 清勇	20	1972	商学
	島袋 君子	20	1972	体育
	上原 正信	21	1973	農学
	安里 直子	21	1973	初等教育
	山入端 恵子	21	1973	体育
	照木 勝明	23	1975	短大法経
	宮城 重哲	24	1976	法政
	山田 稔	24	1976	養護課程
	評議員	田本 由美子	24	1976
慶田 喜則		25	1977	数学
宮平 進		25	1977	法政
上原 徹		25	1977	社会
米盛 智恵子		26	1978	養護課程
親川 勝		27	1979	法政
比嘉 正幸		27	1979	短大法経
幸家 秀男		28	1980	法政
大城 正人		28	1980	法政
当銘 恵友		28	1980	経済
蔵根 美智子		28	1980	教員養成
嘉手苺 弘美		28	1980	教員養成
平井 りい子		30	1982	文学
根路 銘三 恵		31	1982	保健
上原 修		31	1983	社会
田崎 明美		31	1983	教員養成
大湾 知子		32	1984	保健
佐喜真 裕	36	1988	法政	
マロクイン・O・友美	44	1996	英文	
前泊 美紀	44	1996	法政	
友利 直子	45	1997	経済	
狩俣 みつ穂	46	1998	人文	
池間 智政	50	2002	農学	
新田 繁睦	57	2009	教員養成	
玉寄 由利亚	学生		教員養成	
事務局長	喜屋武 正志	26	1978	生物

※年は西暦表示

退職される恩師紹介

(2023 年 3 月 31 日付)

五十音順に掲載

No.	氏名	職種	部局名
1	青木 陽一	教授	大学院医学研究科
2	安藤 由美	教授	人文社会学部
3	大倉 信彦	助教	大学院医学研究科
4	屋 宏典	教授	熱帯生物圏研究センター
5	兼本 円	教授	国際地域創造学部
6	嘉陽 進	助教	医学部附属実験実習機器センター
7	柄木 良友	教授	教育学部
8	具志堅美智子	助教	医学部
9	國吉 緑	教授	医学部

No.	氏名	職種	部局名
10	酒井 一彦	教授	熱帯生物圏研究センター
11	泉水 奏	助教	大学院医学研究科
12	高畠 幸司	教授	農学部
13	立原 一憲	教授	理学部
14	田中 淳一	教授	理学部
15	照屋 功	准教授	工学部
16	藤井 智史	教授	工学部
17	古川 雅英	教授	理学部

長い間おつかれさまでした。

※掲載はご了承いただいた先生方です。

同窓会創立 70 周年記念事業概要



創立 60 周年記念祝賀会 (2015 年 7 月)

琉球大学同窓会は、1954年12月4日に第 1 回及び第 2 回卒業生146人で発足し、2024年12月に創立70周年を迎えます。

創立70周年に当たり、実行委員会の下に専門部会を設け、記念事業としまして、

- 記念式典・祝賀会・記念講演 ○ 記念イベント ○ 記念誌発行
- 学生・大学支援 ○ キャンパス植栽 ○ 社会貢献活動

を計画しております。

有意義な記念事業の実現に向けて、会員をはじめ多くの方のご支援、ご協力をお願い致します。

同窓会創立 70 周年記念事業募金 (ご協力のお願い)

70 周年記念事業に向けて募金活動を行っております。
皆さまのご支援を宜しく願い申し上げます。

- 募集期間
2023 年 3 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで
- 募金額 1 口 5 千円 (複数口のご協力もお受けします)
- 募金方法
同封の振込取扱票 (振込用紙) に必要事項をご記入のうえ、右記の取扱金融機関へお振込みください。

[取扱金融機関]

ゆうちょ銀行	02000-7-9795
琉球銀行	宜野湾支店 普通 135982
沖縄銀行	我如古支店 普通 1185890
沖縄海邦銀行	宜野湾支店 普通 315932

[口座名義]

琉球大学同窓会

2023 年度「定期総会」のご案内

期 日 2023 年 7 月 29 日 (土) 14 時～
場 所 琉球大学 50 周年記念館
多目的室 A・B

日 程 支部長会 12 時～13 時 30 分
定期総会 14 時～15 時

※ 詳細はホームページにて